

中間的就労受け入れ事業所 および自立相談支援機関からの報告



令和5年12月 オンデマンド
社会福祉法人 武蔵野会 小平福祉園
社会福祉法人 小平市社会福祉協議会

こだいら生活相談支援センター

小平福祉園 事業内容

- 施設入所支援/42名・短期入所/6名
- 生活介護/62名(入所42名、通所20名)
- 就労継続支援B型/10名・児童発達支援/10名
- 放課後等デイサービス/10名・日中一時支援
- 計画相談支援 ・居宅介護

支援員 常勤31名 非常勤32名

役職・看護師・栄養士・事務員・運転手

嘱託医・講師等

清掃・洗濯・環境整備 15名(うち障害者雇用4名)

法人の理念

『自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ』

あるがままの自分を理解し受け入れ、絶えず啓発することによって、あなたの隣人と対等な関係を築き、隣人をあるがままに理解し受け入れることを目指す。

法人全体で取り組む地域公益事業として、生きにくさを抱えた人々の支援、相談できず孤立している人への支援等を社会福祉法人の一つの使命としても捉え行っています。

- ・法人成年後見事業の支援
- ・HIV療養者福祉施設受け入れ支援
- ・被災地へのボランティア
- ・生きにくさを抱えた人の支援
- ・多世代間交流、居場所づくり
- ・中間就労や実習の提供

こだいら生活相談支援センターとは

お困りごとを抱えている方の「よろず相談所」
(自立相談支援機関)

〈令和5年度の体制〉 総員10名

相談係:主任相談支援員1(センター長兼務)、相談支援員4
地域支援係:CSW 兼 就労準備支援員 兼 アウトリーチ支援員 5



◆平成27年4月
生活困窮者自立支援法施行に伴い小平市から小平市社会福祉協議会が委託を受け開所。

◆令和3年4月~
CSWが市の新規事業として、市内全域、包括の圏域ごとに5人配置され、センターの機能拡充を実施。

「生活困窮者自立支援法」に基づき、小平市から社会福祉協議会が事業を受託し、運営。

中間的就労までの流れ

- 見学&面接（本人同行支援）
- 相談者との面談
- 施設との情報共有



いかがお過ごしですか？

自立相談支援機関相談員

好事例のご紹介

※個人が特定されないように加工しています

●事例

- ・ 80代の父と50代（女性）本人の2人暮らし。父が存命の時は父の年金で生活をしており、ひきこもり状態で就労歴もない。
- ・ 今後は自分で働き生活費を稼がなければと思い、当センターに相談をした。
- ・ すぐに一般就労を目指すのは不安だし、自信がない…、自分にできることも分からない…。



掃除ができると話しているんです。
本人ができることってありますか…？

自立相談支援機関相談員

困難だった例のご紹介

※個人が特定されないよう加工しています

●事例

- ・ 20代男性。就労歴があるが、前の職場では人間関係のトラブルやストレスから身体症状（胃痛）があり離職。約10年ひきこもり状態が続いている。
- ・ 今までは母の仕送りで一人暮らしをしていたが、自立を目指したいと就労を目指していた。
- ・ 病院に対して拒否感あり。



相談者

自分が働ける場所なんてない…
面接も受かる気がしない…

支援のポイント

○自分で決める「やってみようかな」

○伴走型支援で共に歩む

○行ったり、来たりでいい

気を付けること

○施設と本人の近況確認、情報共有

※直接お会いする。

○「失敗」、「出来ない」をフォローする